

1 学年 地域探究②

6月19日（水）に1学年の生徒が五泉市観光協会様、お城の会のガイド様のご協力を得て、「城下町探索」を行いました。3グループにわかれて、ガイドの方から説明を受けながら、コース別に村松の町を歩きました。お天気にも恵まれた中、村松の町を歩きながら城下町の特徴が見られる道や町名などの説明を受け、歴史を感じることができました。

例えば、外部の人を町に侵入させないための工夫として、道幅が狭く、入り組んでいたり、交差点が十字ではなくズレていたり、道幅が一定でなかったりすることなど、気づかせてもらいました。また、人が住む場所も決められ、お城を出るとすぐに藩の重臣や上級武士の住む屋敷が配置され、城の南側には、下級武士である槍組、徒士（かち）を住ませ、現在も長柄町（ながえまち）、御徒士町（おかちまち）という名前が残っていること、寺町は当時は町の入り口として重要な場所であり、町の防衛拠点や避難所としての役割があったことなどを建物や堀、川、道路などに注目しながら、わかりやすく説明していただきました。

今回の経験をもとに、各自で興味を持ったことについて地域探究活動を進めていきます。暑い中、丁寧に説明をしてくださったガイドの皆様、ありがとうございました。

